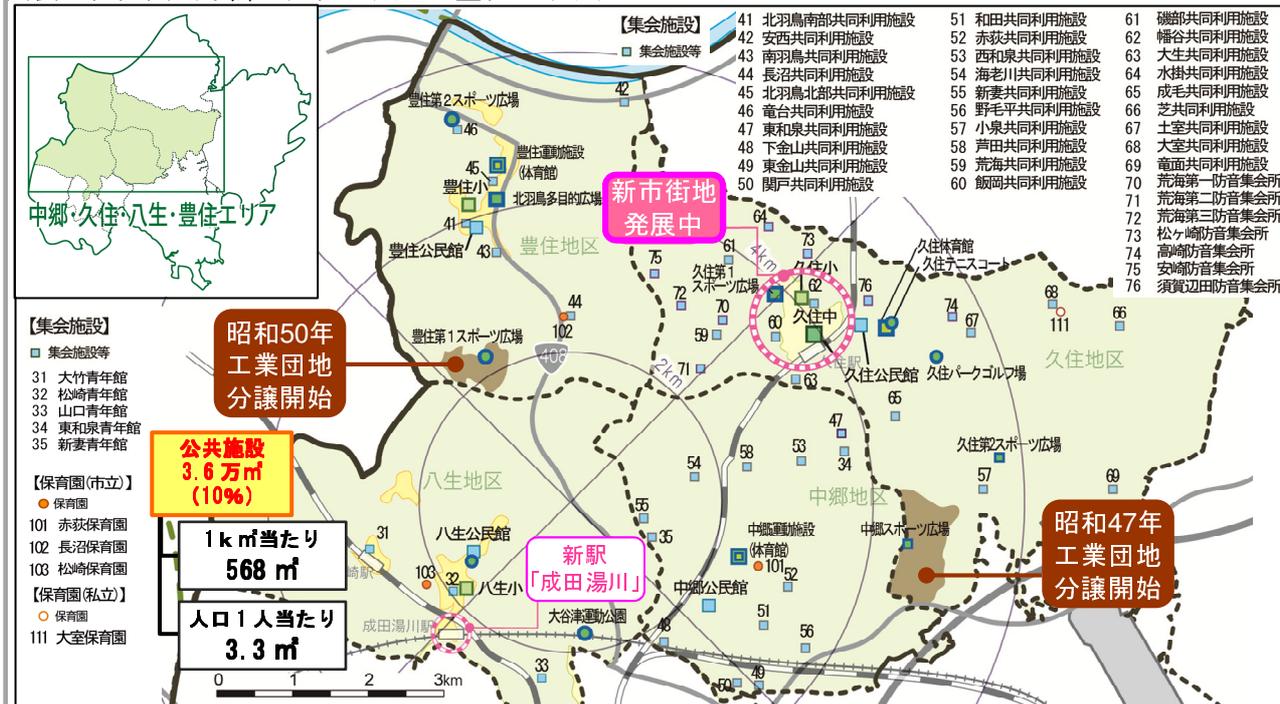


図表 位置図（中郷・久住・八生・豊住エリア）

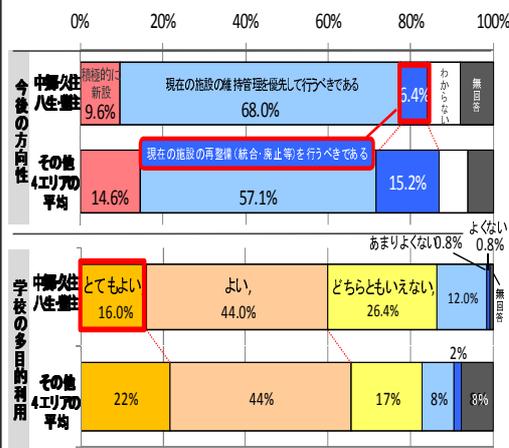


**公共施設の状況 【整備状況・利用状況】**

- 本エリアの公共施設の面積は3.6万㎡で、学校教育系施設は、他の地区に比べ最も少なく、また老朽化が進行している建物が大半を占めています。
- 学校は、既に統廃合が進んでおり、平成18年度（合併時）小中学校7校から現在は4校になっています。久住小を除いた3校の学校規模は、いずれも70人程度となっています。
- 公民館1施設当たりの対象人口は、4施設とも市平均（類似施設含む17施設）の7,584人の半分以下となっており、かつ稼働率は22%と低くなっていますが、住民1人当たりの年間利用回数は、1.6回の久住を除き、市平均（2.1回）を越える3.1~5.1回と多くなっています。
- 集会施設として、青年館・地区集会施設・共同利用施設・防音集会所の合計40施設（約4,689㎡）を保有しています。本エリア内集会施設の1施設・1ヶ月当たり利用件数平均は、約3件/月と1週間に1件以下の利用状況になっています。

**市民アンケート結果**

■既に学校施設の統廃合が進んでおり、今後再整備への要望や学校の多目的利用への要望が低い



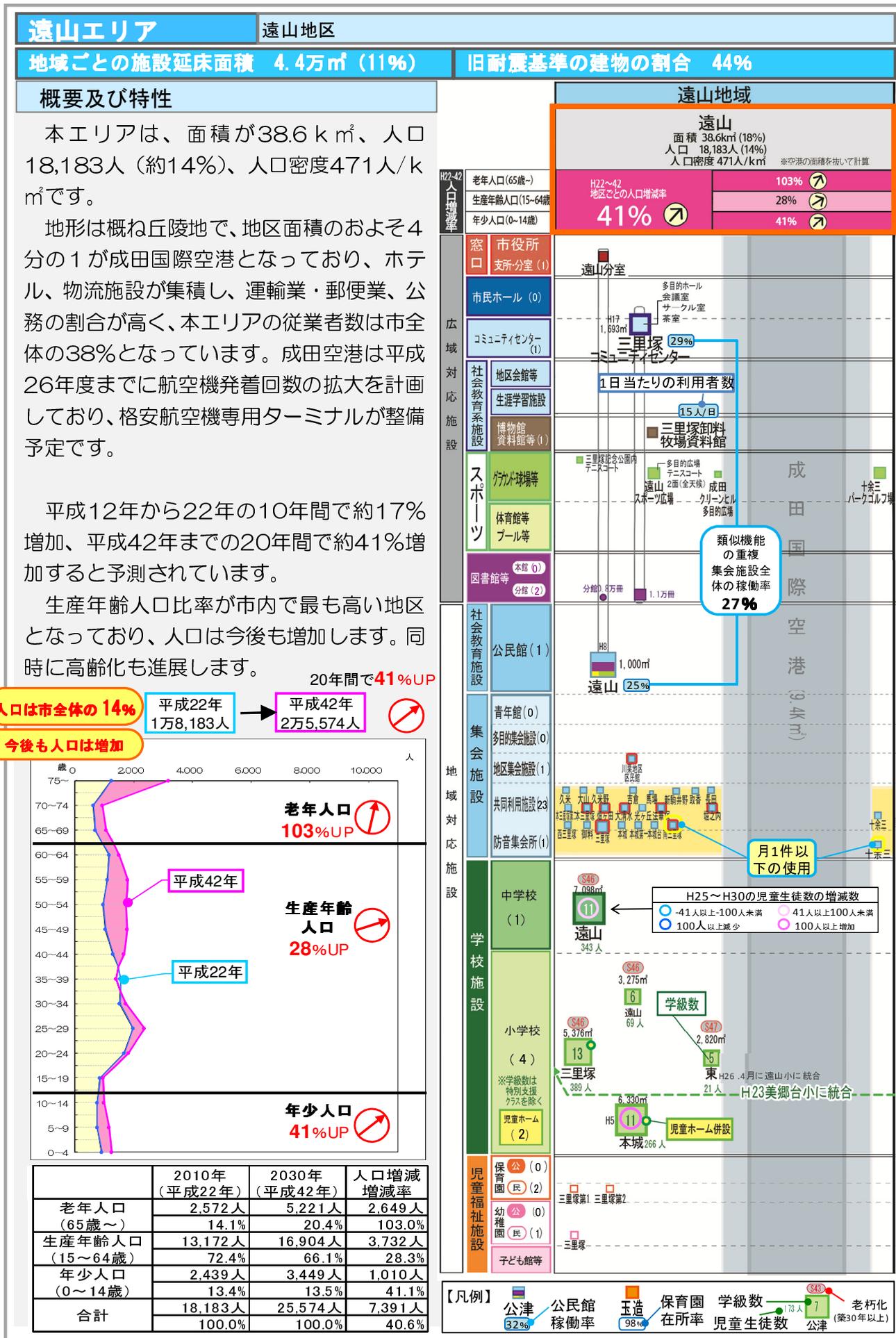
**今後の検討の視点**

**【耐震化・老朽化への対応】**

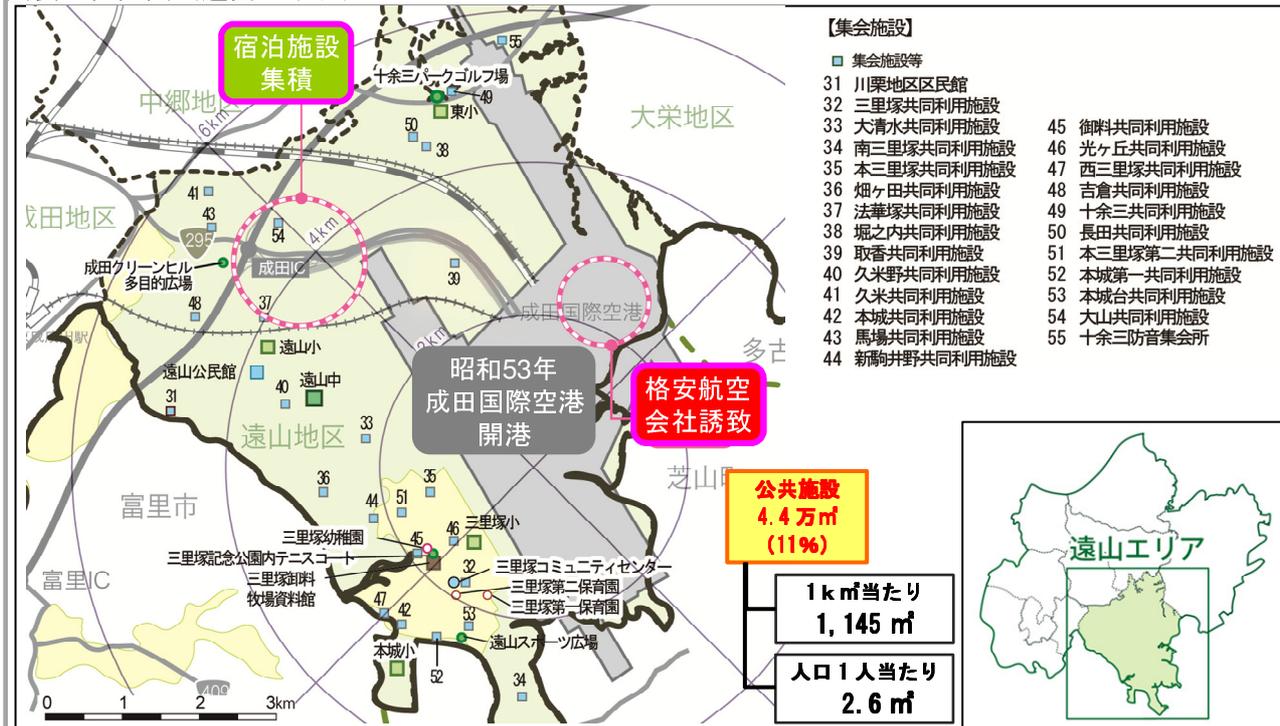
- 集会施設の42%が老朽化しており、今後更に老朽化が進行するため、維持・改修コストがさらに必要となります。エリアの実情を勘案しながら類似機能の整理、施設の複合化、統合・廃止や、地域への施設譲渡などを検討する必要があります。

**【地域特性・人口構成の変化等による施設の有効活用】**

- 人口減少と少子高齢化が最も早く進むエリアで、現在の公共施設の機能と配置、地域ニーズにミスマッチが生じています。学校の有効活用等を視野に入れながら、機能の集約化や施設の整理・縮小・統合・廃止等を検討する必要があります。



図表 位置図（遠山エリア）

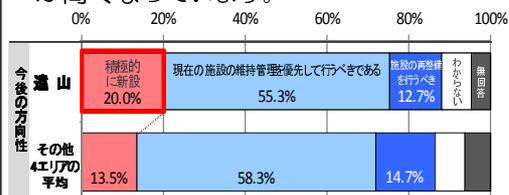


**公共施設の状況 【整備状況・利用状況】**

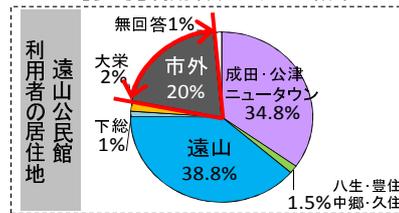
- 本エリアの公共施設の面積は4.4万㎡で、うち学校が56%を占めており、市内で2番目に多く、その他に公営住宅を保有しています。またスポーツ施設は、市内で2番目に少なく体育館は保有していません。
- 学校は、5校中4校が築30年以上経過しており、東小を除いて大規模改修が終了しています。またいずれの小中学校も小規模な学校にあたり、東小の児童生徒数は、20人程度となっています。
- 公民館と三里塚コミュニティセンターの2施設の稼働率は25～29%と低く、施設規模が住民人口に対してマッチしていない事が考えられます。
- 集会施設として、地区集会施設・共同利用施設・防音集会所の合計26施設（約3,763㎡）を保有しています。本エリアの集会施設の1施設・1ヶ月当たりの利用件数平均は、約6件/月の利用状況になっています。

**市民アンケート結果**

■今後も人口が増加する中、市外からの利用者も多く、公共施設の新設の要望が高くなっています。



**【参考】利用者アンケート結果**



**今後の検討の視点**

**【耐震化・老朽化への対応】**

- 東小学校（平成25年度末閉校）と三里塚小の一部で老朽化が進行しており、早急な対応が必要です。

**【地域特性・人口構成の変化等による施設の有効活用】**

- 遠山地区は、生産人口比率が最も高い地区で、今後は年少人口も増加します。共同利用施設等集会施設のきめ細かい配置状況から、集会機能の重複が見られ、公民館とコミュニティセンターの集会機能の見直しや機能変換を行い、住民ニーズに対応した整備レベルの向上を図ることで、利用向上を実現させていく必要があります。また学校施設の建替えや大規模改修が必要な状況にあるため、スポーツ施設の充実や学校の整備レベルの向上も視野に入れ、施設の複合化など一体的かつ効率的な整備を検討する必要があります。